

2008年原水爆禁止世界大会成功!

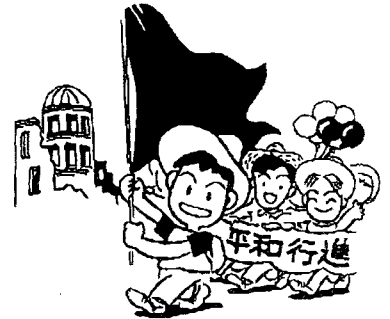
米原子力空母配備を阻止しよう!

50周年神奈川県平和行進ニュース

発行：国民平和行進神奈川県実行委員会 横浜市中区野毛町2-61 大沢屋ビル4A
TEL045-231-6284 FAX045-261-6577 2008年5月19日(月) No.14

50年前、1958年6月20日広島原爆慰霊碑前を出発、8月11日東京まで全行程1000キロの行進。100万人の参加する大行進として成功しました。第1回国民平和行進です。

生きてよかった それを感じたくて	生きてよかった それをみつめたくて
広島の前から 私は歩いてきた	長崎の前から 私は歩いてきた
苦しみをとばに 悲しみとわかりに	この胸のいたみと 歌声にたくて
きずついたので ここまで歩いてきた	焼け跡の下から ここまで歩いてきた
この耳をふさいでも 聞こえる声がある	この耳をふさいでも 聞こえる声がある
この心閉ざしても あふれる愛がある	この心閉ざしても あふれる愛がある
はばだけ 折り鶴 私からあなたへ	はばだけ 折り鶴 私からあなたへ
羽ばだけ 折り鶴 あなたから世界へ	はばだけ 折り鶴 あなたから世界へ



18日(県内12日目)

Aコース 鴨宮駅南口→連歌橋→城址公園(みずの公園)→秀英予備校前→小田原駅東口電車移動→真鶴駅→真鶴町民センター→町立診療所→真鶴駅

司会はコープ委員会。小田原市長のメッセージを鈴木総務部長が代読。被災者の会小田原支部長の竹原さんが「長崎で中学2年生の時動員された工場で被爆」「風化させないように運動をやっていきます」と被爆証言。懇談会代表の島さんは50周年の平和行進の意義を強調。通し行進者も紹介され、島根県の志谷さんは被爆者が毎日歩いていることに「初めての経験と」感銘したことを話されました。100人が行進しました。

Bコース 秦野市役所→大川橋→保健福祉センター→相互住宅→コープ渋沢店→小田原急渋沢駅電車移動→真鶴町民センター・Aコースに合流

約80人で出発集会。地元実行委員長の中村さんのあいさつ、秦野市長からのメッセージが読み上げられました。また、福森市議会議長から秦野の市民憲章のお話と心から平和を願っていると、平和への力強いあいさつをいただきました。

真鶴では青木健町長から「(平和行進のような行動が)世の中を平和にしている。地球のことを考えられる人の心を育てたい。自覚と責任を持った行政をやっていきたい」とあいさつされました。あずま実行委員長は「戦争や核兵器は人災。人間の英知で避けられる」と、核兵器廃絶を訴えました。真鶴は約100人が行進に参加しました。

Cコース 箱根観光会館→湯本駅→三枚橋→箱根町役場

1時集合1時半出発。出発式は「箱根九条の会」国定さんの司会。県原水協・永沢さんが広島までの通し行進者・塩瀬さんと県内通し行進者・伊藤さんを紹介行進開始。

町の人たちの家々が並ぶ中を1.8キロ行進しました。箱根町の人たちが作った横断幕を先頭に15人が元気よく歩きました。町の人たちが家から出てきて「がんばってください」「ごくろうさまです」と暖かく励ましてくれました。役場前の集会は山口昇士町長のメッセージが読み上げられ、町長・町議会議長からペナントと賛同金が寄せられ被爆者の塩瀬さんが受け取りました。また、川崎市中原区のトランペッター、菅ユキさんのトランペット演奏もあり集会を盛り立てました。本日まで4000人を越える人たちが行進し、被爆者も延べ100人が行進の先頭を歩いていることが永沢さんから報告されました。

神奈川県内最終日・本日のコース

※湯河原観光会館10時出発→湯河原駅前→広崎公園→千歳橋川端公園…静岡へ引継ぎ